

開催日時：2026年1月14日 18:00 開催

開催場所：標津町生涯学習センター「あすばる」

参加者：ワーキンググループメンバー、教育委員会事務局、久米設計

テーマ：まちのみんなで“つかいたおす”新施設のあり方を考える

新施設で計画予定のさまざまな部屋、場所、機能について“こんな部屋がいい”“こんな使い方がしたい”のアイデアを出し合った。そこから子どもたちの目線から地域の大人の目線まで、様々な立場で新施設の使い方、そしてあり方についてグループごとにディスカッションを行った。



ファシリテーターによる類似事例のミニレクチャープレゼン



新施設での諸室や機能についてディスカッション



ブロックシートを使って新施設のあり方を議論

グループワークでの意見

義務教育学校

- ・校庭は低学年と高学年とで同時利用の安全性を確保する必要がある。
- ・特別教室は地域の人たちも使えるようにするほうが良いのではないかな。
- ・地域図書館機能を設置した場合、常時司書がいることになり学校側へのメリットも大きい。
- ・地域図書館と学校図書館をわけるなど、エリアを考えてもいいのではないかな。
- ・普通教室の配置は、現状のように小学校（1～6年）、中学校（7～9年）とすみ分けしたほうがよいのではないかな。
- ・学年ごと教室のあり方は変わる。低学年教室はトイレに近くに配置する必要がある。
- ・ダンスや運動・会議など多目的に利用できるスタジオ的スペースが欲しい。
- ・保健室の近くにゆっくり過ごせる部屋があっても良いのではないかな。（和室など）
- ・保健室は他の先生方も来やすい場所に設けたほうが良いのではないかな。
- ・グラウンドは学校と地域で利用できるようにしたい。また、学習に必要な設備は整備すべき。
- ・ランチルームのような子供たちが集える居場所があるといい。
- ・学校の中心として、図書館よりも多目的に使える空間の方が使いやすいのではないかな。
- ・児童館のプレイルームと低学年の教室や共用部のエリアが近いと、高学年との遊び場のすみ分けができる。
- ・学校の特別教室や図書室は安全で安心できる開放であり、合理的でコンパクトな施設計画としてほしい。

児童館

- ・プレイルームなど、低学年の学校エリアとの機能連携を強化したい。
- ・体育館の利用も考えられるが、部活動利用を考えると児童館として別途運動スペースの確保は必要ではないかな。
- ・児童館前にスケールの小さな芝生広場を整備してほしい。
- ・利用率が高く、既存施設が手狭なため、様々な活動ができる十分なスペースを確保してほしい。

体育館

- ・学校行事利用を考慮すると体育館全館の地域開放は困難となるので、（小アリーナ等）運動できる場所が必要。
- ・色々なイベントに活用できるように給排水設備があったほうが良いのではないかな。
- ・ロビーには町民が気軽に利用できるカフェやワークスペース、キッズスペースを整備してほしい。
- ・観覧席をランニングスペースとして整備し、児童生徒の雨天時等の運動スペースとして整備してほしい。
- ・体育館のジムは現在も利用率が高いため、新施設においても大人の居場所として整備してほしい。
- ・日中の高齢者の居場所となるため、学校利用とのすみ分けを計画する必要がある。
- ・大きなアリーナを多機能で整備するよりも数のアリーナ（運動場）を機能を絞って整備するのはどうか。

プール

- ・年間を通じて利用できるプールであれば必要ではないかな。
- ・サウナも設置し、健康増進機能を強化したい。
- ・プールを屋内運動場として機能転換できると学校の運動スペース確保として、通年で利用率を高めるのはどうか。
- ・小さい子どもが安心して使える深さ、設備がほしい。

給食センター

- ・これまで同様、他施設にも配給するのであれば、わざわざ一緒につくらなくてもよいのではないかな。
- ・給食センターは校舎近くに設置したい。